

## 平成30年度第2回函館市教育振興審議会 会議録

日 時	平成30年10月30日（火） 18:30～
場 所	函館市役所 8階大会議室
出 席 （委員）	小松委員，大西委員，花田委員，高橋委員，榊委員，松浦委員，蓮本委員，風間委員，田湯委員，小川委員，土川委員，干山委員，竹内（岳）委員，神田委員，相馬委員，福田委員，濱委員，井上委員，木下委員，八田委員，横田委員，永澤委員，伊藤委員（23名）
（事務局）	佐賀井教育政策推進室長，大室教育政策課長，堤学校再編・地域連携課長，兵吾主査，笹原主事（5名）
傍聴者	なし

### 1 開会

（会長）

ただいまから，平成30年度第2回函館市教育振興審議会を開会する。本会議については，原則公開で行い，会議の内容については，後日要約した会議録を作成し，本市のホームページで公開する。なお，本日の会議は委員23名の出席となっており，半数以上の方が出席しているため会議が成立していることをお知らせする。

### 2 議事

（会長）

本日の議事は，次第にあるとおり，審議会が7月6日に諮問を受けた「平成30年度の教育委員会の事務の点検および報告書（平成29年度対象）」に対する答申（案）についての審議となる。

はじめに，審議を行った点検評価部会から，答申（案）の作成に至るまでの審議経過について説明をしていただきたい。

（A委員）

点検評価部会を代表し，私の方から諮問事項の審議経過について説明したい。

資料1をご覧ください。点検評価部会は，3回の部会を開催し，答申（案）を作成した。はじめに，7月6日の諮問後に第1回点検評価部会を開催し，事務局から諮問内容の説明を受け，審議の方法やスケジュールなどについて協議を行った。部会終了後，配付された報告書（案）について，各委員から意見を提出していただき，それを事務局が整理し，答申案骨子（案）として取りまとめたところである。8月28日に開催した第2回点検評価部会では，取りまとめた答申案骨子（案）について，委員の皆様からいただいた意見と照らし合わせながら，一つ一つ審議を進めた。審議の中では，言葉の使われ方や全体的なバランス，各委員の専門的な見地も含めた積極的な意見交

換が行われ、非常に有意義な部会となったものと捉えている。その審議結果を踏まえ、部会長と事務局において答申案骨子を取りまとめ、それに基づきながら答申(原案)を作成した。書面にて開催した第3回点検評価部会では、第2回の部会で議論された内容がどのように反映されたか分かるように、新旧対照表を添えながらその答申(原案)について書面審議を終え、全員の承認を得て決定したところであり、それを本日の審議会へ答申(案)として提出したところである。私の方からは、以上である。

(会長)

ただいま、点検評価部会から審議経過について説明があったが、このことについてご意見・質問などがあれば伺いたい。

(委員)

—意見・質問なし—

(会長)

それでは、答申(案)の審議に入る。資料2が答申(案)であり、これを読み上げさせていただきます。

《資料2を読み上げ》

なお、当初10ページにもおよぶ委員の皆様からの意見を整理し、まとめたものを資料として、答申に添えて提出することとなる。

この答申(案)についてのご意見、ご質問などがあれば伺いたい。

(B委員)

点検評価部会の委員の方々、これまで3回の部会、たいへんお疲れ様でした。

私から一点質問と、文言の修正等は必要ないと思うが、一点意見を述べさせていたきたい。資料2の答申(案)の後ろの資料の「ケ 教職員の人事管理」について。教職員の人事関係の事項に「チーム学校の良さは、コミュニティ・スクールの取組によってより一層高まるものと期待する。」と書かれているが、教職員の人事管理とどのようにリンクしているか、お聞きしたい。

もう一点は、文化財の保護活用について。今、函館市を挙げて世界遺産の登録を目指していると思うが、このことについて、子どもたちにはたくさん知ってもらう必要があると思う。実際、縄文遺跡は小学校4年生の社会科や、6年生の歴史、中学校の社会の歴史分野などで学ぶとは思いますが、函館に住んでいる者として、やはり縄文遺跡については、教科関係なく知っていく必要があると思う。一方で、今、学校現場ではかなり学習内容も多く、授業時数も厳しい中で、新しいものを追加するのは厳しいと思う面もある。例えば、教職員がそれについてもっと知る、あるいは子どもたちが知ることによって、もっと実感が湧いてくるのかなと思う。教職員の業務改善を考えると、さらに教職員研修が増えるとなると教職員に負担が出てくるので、負担のない形で何か、もっと函館にある縄文遺跡を知ることによって、もっとまちを挙げて機運を高めることで世界遺産への登録が近づいて来るのではないかと思う。例えば、具体的

に、教職員であると夏季休業や冬季休業期間の研修の1つとして活用するなどの方策もあるのかなと思う。文言に載せる必要はないと思うが、そういうことも利用してもらえると、次年度以降もっと盛り上がってくるのではないかと思い、意見として述べさせていただいた。以上である。

(点検評価部会長)

まず、1点目に、チーム学校の良さについて、人事管理の部分に載っていることについて質問があった。「チーム学校の良さは、コミュニティ・スクールの取組によってより一層高まるものと期待する。」ということについて、教職員の人事管理と結びつきが少しうすいのではないか、というご意見かと思う。先生方の人事管理というと、非常にことばがきつい感じがするが、先生方が一生懸命取り組んでいただくと考えたときに、チーム学校というのは、先生方皆が一緒になって頑張って学校づくりをしていくということであるが、例えばコミュニティ・スクールなどの取組とともに、全員が一生懸命取り組んでいく、そういう環境ができてくることにつながる。直接的な人事管理ではないが、皆で一生懸命取り組める素地ができて、いい環境でやっていける、先生方の力も伸びていくという意味合いであり、意見として載せたところである。さらに、先程の文化財についてのご意見だが、この他にもたくさん出された細かなご意見等については、これからそれぞれの部署に渡されていくので、今のご意見も反映できるかと思う。よろしいだろうか。

(B委員)

了解した。

(会長)

そのほか、ご意見等はないだろうか。

(委員)

—意見等なし—

(会長)

委員の皆様からは、答申(案)の後ろに付けた資料の3倍も5倍も細かな意見をいただいて、それら意見を整理した形で答申(案)として提出させていただいている。

それでは、今、ご質問もいただいたが、そういった皆様のそれぞれの思いも込めながら、受けとめながら教育委員会に答申するというところで、進めていきたいと思うが、ご承認いただけるか。

(委員)

—異議なし—

(会長)

この答申(案)は、点検評価部会において、長い時間をかけ、委員の皆様からたくさん知恵を出していただきながら作成したものであるため、これを確かに教育長へ渡

していきたい。また、点検評価部会の皆様においては、本当にご苦勞をかけたなと思う。また、たいへん精力的にやっていただいた。改めて、感謝申し上げます。

この答申については、後日、日程を調整して、私と副会長とで教育長へ直接お渡ししてくるのでご了解いただきたい。

本日の議事については以上である。

### 3 その他

(会長)

次に、その他として、学校再編部会から現在の進捗状況について報告をいただきたい。

(学校再編部会長)

それでは、私から学校再編部会に係る再編関係の進捗状況について、報告させていただきます。

現在、学校再編部会においては、磨光小学校、臼尻小学校、大船小学校の再編に係わって、PTA役員や地域の方々に対して、参考意見を伺う意見聴取会を行っているところである。既に、24日に臼尻小学校の意見聴取会および3校の現地調査、そして昨日29日(月)に磨光小学校の意見聴取会を終えたところである。この後、11月6日(火)に大船小学校の意見聴取会を実施した後、11月または12月に開催予定の第2回学校再編部会にて、答申(案)を作成し、その後、審議会へ答申(案)を提出する流れとなっている。また、諮問されている他の再編グループについては、保護者や地域の状況等に応じて、随時、答申に向けた準備を進めてまいりたいと考えている。以上である。

(会長)

今、まさに意見聴取会と現地調査を行っているという報告であった。学校再編部会の委員の皆様には、引き続き、よろしく願いしたい。

その他、委員の皆様から何か質問等あるか。

(委員)

—質問等なし—

(会長)

事務局から何かあるか。

(事務局)

先程、会長からも話しがあつたが、点検評価部会の皆様においては、膨大な量の資料を読み込み、審議を重ねていただき、そして、答申(案)を作成いただいたことについて、深く感謝申し上げます。本日の審議の中でも、質問やご意見等もいただいた。決定した答申については、この後、会長・副会長から教育長へ渡していただくことになるので、よろしく願いしたい。

また、学校再編部会の皆様においても、小委員会がまさに開かれているところであるので、引き続きよろしくお願ひしたい。今後の教育振興審議会の開催については、後日日程調整の上、改めて、委員の皆様にお知らせするので、よろしくお願ひしたい。

#### 4 閉会

(会長)

以上をもって、平成30年度第2回函館市教育振興審議会を終了する。